



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社イオレ 上場取引所 東
 コード番号 2334 URL <https://www.eole.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小川 誠
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)岩崎 啓昭 (TEL) 03(4455)7092
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	576	△39.0	△205	—	△191	—	△192	—
2020年3月期第2四半期	945	16.0	27	—	27	—	21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△82.90	—
2020年3月期第2四半期	9.51	8.90

(注) 2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,114	977	87.4
2020年3月期	1,428	1,153	80.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 974百万円 2020年3月期 1,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	△29.5	△327	—	△307	—	△309	—	△132.76
	~1,501	~△18.6	~△271	—	~△250	—	~△252	—	~△108.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,330,183株	2020年3月期	2,312,500株
2021年3月期2Q	66株	2020年3月期	66株
2021年3月期2Q	2,321,158株	2020年3月期2Q	2,307,916株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により内需・外需ともに大きく落ち込み、緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、ウイルス感染は未だ収束の見通しが立たない状況にあり、景気の回復は緩やかなペースにとどまるものと思われまます。

当社が事業展開するインターネット広告市場につきましては、テレビメディア広告費を抜いて非常に高い成長を遂げており、引き続きインターネットメディアへのシフトが続いておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による景気悪化に伴い企業の広告宣伝活動が縮小してきております。また、当社が注力してまいりましたインターネットを活用した求人広告市場につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛や休業要請で経済活動が停滞したことによって、有効求人倍率は2020年3月以降大幅に減少となり、先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境の下、当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各サービスとも前年同期比で低調な結果となりましたが、2020年8月に団体活動向け連絡網サービス「らくらく連絡網.app(ドットアップ)」の提供を開始し、運用型求人広告プラットフォーム「HR Ads Platform」の構築の準備を行ってまいりました。

その結果、『らくらく連絡網』の2020年9月末時点の会員数は696万人(前年同期比1.6%増)、アプリ会員数は227万人(前年同期比13.7%増)、有効団体数は39万団体(前年同期比1.1%増)、『ガクバアルバイト』の当第2四半期累計期間における新規登録者数は5万人(前年同四半期比32.2%減)、『らくらくアルバイト』の2020年9月末時点の会員数は174万人(前年同期比7.6%増)、「ジョブオレ」の2020年9月末時点の求人原稿数は46千件(前年同期比113.2%増)となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は576,869千円(前年同四半期比39.0%減)、営業損失は205,122千円(前年同四半期は27,953千円の営業利益)、経常損失は191,265千円(前年同四半期は27,632千円の経常利益)、四半期純損失は192,412千円(前年同四半期は21,940千円の四半期純利益)となりました。

なお、当社は、「インターネットメディア関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

また、当第2四半期累計期間のサービス別の販売実績を示すと、次の通りであります。

なお、2020年8月にリリースしました「らくらく連絡網.app」につきましては、『らくらく連絡網』に含めております。

サービスの名称	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
らくらく連絡網	39,324	△28.9
ガクバアルバイト	38,291	△58.0
らくらくアルバイト	30,906	△45.0
pinpoint及びその他運用型広告	424,084	△33.5
その他	44,262	△57.9
合計	576,869	△39.0

(注)上記金額には、消費税等が含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は1,114,529千円となり、前事業年度末に比べて313,827千円(22.0%)減少いたしました。これは主として、現金及び預金が253,866千円減少、売掛金が64,495千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は137,438千円となり、前事業年度末に比べて137,385千円(50.0%)減少いたしました。これは主として、買掛金が99,206千円減少、未払金が29,194千円減少、未払消費税等が12,129千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は977,091千円となり、前事業年度末に比べて176,442千円(15.3%)減少いたしました。これは主として、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が192,412千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、548,635千円となり、前事業年度末に比べ153,858千円減少しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は181,844千円(前年同四半期は105,275千円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の減少額64,663千円、減価償却費56,547千円があったものの、税引前四半期純損失191,265千円、仕入債務の減少額99,206千円、未払消費税等の減少額12,129千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は20,012千円(前年同四半期は63,327千円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出79,426千円があったものの、定期預金の払戻による収入100,008千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は7,973千円(前年同四半期は8,052千円の使用)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入7,973千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年8月14日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	802,502	548,635
売掛金	170,386	105,890
その他	23,853	26,653
貸倒引当金	△1,703	△847
流動資産合計	995,037	680,333
固定資産		
有形固定資産	4,843	3,930
無形固定資産		
ソフトウェア	227,516	340,165
ソフトウェア仮勘定	126,477	16,305
無形固定資産合計	353,994	356,471
投資その他の資産		
繰延税金資産	57,153	57,153
その他	22,374	22,059
貸倒引当金	△5,046	△5,418
投資その他の資産合計	74,481	73,794
固定資産合計	433,319	434,196
資産合計	1,428,357	1,114,529

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,295	66,088
未払法人税等	7,967	5,335
その他	101,561	66,014
流動負債合計	274,824	137,438
負債合計	274,824	137,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	737,857	745,843
資本剰余金	680,779	688,765
利益剰余金	△267,700	△460,113
自己株式	△117	△117
株主資本合計	1,150,819	974,377
新株予約権	2,713	2,713
純資産合計	1,153,533	977,091
負債純資産合計	1,428,357	1,114,529

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	945,297	576,869
売上原価	557,863	429,330
売上総利益	387,434	147,539
販売費及び一般管理費	359,480	352,662
営業利益又は営業損失(△)	27,953	△205,122
営業外収益		
受取利息	13	13
助成金収入	—	13,828
雑収入	129	15
営業外収益合計	142	13,856
営業外費用		
支払利息	6	—
社債利息	10	—
支払手数料	41	—
社債発行費償却	405	—
営業外費用合計	463	—
経常利益又は経常損失(△)	27,632	△191,265
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	27,632	△191,265
法人税等	5,692	1,147
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,940	△192,412

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	27,632	△191,265
減価償却費	49,318	56,547
社債発行費償却	405	—
株式報酬費用	—	1,749
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△989	△484
受取利息	△13	△13
支払利息及び社債利息	16	—
売上債権の増減額 (△は増加)	169,392	64,663
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	2,916
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,762	4,452
仕入債務の増減額 (△は減少)	△105,822	△99,206
未払金の増減額 (△は減少)	△12,489	△7,163
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,551	△12,129
前受金の増減額 (△は減少)	12,276	3,205
その他	△13,597	△5,880
小計	106,815	△182,609
利息の受取額	13	13
利息の支払額	△18	—
法人税等の支払額	△1,534	△1,147
法人税等の還付額	—	1,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,275	△181,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,008	—
定期預金の払戻による収入	100,000	100,008
有形固定資産の取得による支出	△1,216	△569
無形固定資産の取得による支出	△61,882	△79,426
敷金及び保証金の差入による支出	△220	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,327	20,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,482	7,973
自己株式の取得による支出	△74	—
社債の償還による支出	△15,000	—
リース債務の返済による支出	△459	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,052	7,973
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33,895	△153,858
現金及び現金同等物の期首残高	661,049	702,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	694,944	548,635

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済及び企業活動への影響によっては、見積りと異なる場合があります、財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。